

2022年3月27日(日)午前10時30分

《受難節第4主日》※会堂での礼拝を再開しました。

※本庄教会の礼拝では
聖書は『新共同訳』を
賛美歌は『讚美歌21』を
使用しています。

前奏	
招詞	イザヤ書53章5節
頌栄	24 (たたえよ、主の民)
主の祈り	*下記をご覧ください。
讚美	493※1、2のみ (いつくしみ深い) **
交読	『交読詩編』27:7~14
信仰告白	使徒信条 *下記をご覧ください。
聖書	旧約 エレミヤ書 7:14~28 (旧約1189頁) 新約 コリントの信徒への手紙二 6:14~7:1 (新約332頁)
祈り	
讚美	484※1、4のみ (主われを愛す) **
説教	『生ける神の神殿』 疋田國磨呂 牧師
祈り	
讚美	451※1、4のみ (くすしきみ恵み) **
献金	
頌栄	29 (天のみ民も)
派遣・祝祷	
報告	
後奏	**讚美歌は短めとなります。

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。
み国を来たさせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を 我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄とは
限りなくなんじのものなればなり。
アーメン。

使徒信条

我は天地の造り主^{ぬし}、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子^{ひとりご}、我らの主、イエス・キリス
トを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリ
ヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみ
を受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府^{よみ}
にくんだり、三日目に死人のうちよりよみがへり、
天に昇り^{のぼ}、全能の父なる神の右に坐したまへ
り、かしこより来りて、生ける者と死ねる者とを
審きたまはん^{さば}。

我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交
はり、罪の赦し、からだのよみがへり、とこしえ
のいのちを信ず。 アーメン。